

成功へのキセキ 南の国のナデシコ税理士

第22回 ハケ岳で自然を満喫する!!

児童養護施設の子どもたちを連れて、ハケ岳に行ってきました!

以前にもこのコラムで何度か紹介しましたが、私は20年来のクライアントから、遺った財産を子どもたちのために使ってほしいと託され、財団を設立しました。戸沢暢美という一人の女性が、作詞家としてせいっぱい生きた証のお金です。それは生涯、結婚をせず、子どもを持たなかった彼女が、自分の生命を未来につなげていきたいと願った、ささやかな希望でもありました。

忘れないよ!

最期の瞬間、私が耳元でさけんだ言葉に一筋の涙を流した彼女。あれから5年がたちました。

これまでは、子どもたちのために活動しているNPOや団体の活動を、金銭面で側面からサポートしてきましたが、今回はじめて、財団主催で、以前から支援している児童養護施設の子どもたちをハケ岳に招待したのです。

ハケ岳には、財団の理事の一人が所有している山荘Etoile de Midiがあります。Etoile de Midiとは、「真昼の星」という意味だそうです。山登りの好きな理事らしく、Etoile de Midiは、四駆でなければ登っていけないような、山の中に佇んでいました。亡くなった理事のお父様が愛し、そして理事が大切に守ってきた美しい、そして清らかな場所です。

招待した子どもは、小学1年生から高校1年生までの6名。この春、施設を卒業し、財団が進学後の生活費を支援している大学1年生も参加してくれました。

早速、子どもたちを、とっておきのスポットに案内します。そこは野草の宝庫。今夜のおかずにと、つくしやスギナなど、食べられる野草を採りに来たのですが、そんなことより子どもたちはトンボとカエルに夢中になってしまいました!

危ない!という間もなく、四方に散り散りに走り出し、案の定、最年少の小学1年生が、沼にハマってうごけなくなり、「助けて〜」という悲鳴。そばにいる大人は私しかいません。

危ないから、行っちゃダメと言ったでしょ!!!と、思わ

ず大声をだしてしまいました。助けに行こうとしても、私の靴もずぶずぶと沼にはまってしまうす^^; 泥だらけになりながら、やっとそばまで行くと、差し出した手にしがみついてきました。ごめんなさい、とうなずく姿が、めちゃ可愛い〜。



「真昼の星」と名付けられた山荘

Etoile de Midiに戻ったら、今度は鳥の観察です。オーナーの理事が、春先から巣箱をいくつも庭先に設置していたのですが、ナントその一つに、シジュウカラが巣を作っているではありませんか!

木にハシゴをかけて、そ〜と巣の中を覗きこむ子どもたち。私もハシゴを登り、生まれたばかりのひな鳥たちを、観察するという貴重な体験をすることができました!

そこに本日のメインイベント、「星つむぎの村」を開催している、高橋真理子先生が登場です。高橋先生は、山梨県立大学で星の講義をしながら、星を介して人と人をつなぐ「星つむぎの村」を開催する、まさに星のスペシャリストです。

(星つむぎの村 <http://hoshitsumugi.main.jp/web/>)

ハケ岳は、とっても星空が綺麗なのですが、とくに今夜は満月。しかも、火星と木星と土星が地球に最接近しているという、またとないタイミングの夜(^O^)/

そこで、実際の星空を見に行く前に、パソコンを使って、ミニチュアのプラネタリウム鑑賞というわけです。今夜の山梨の夜空、どこにどんな星座が見えるのか、とくに火星と木星と土星の場所などのレクチャーをうけました。

お勉強が終わったところで、腹が減ってはいくさまで

◆筆者 原 尚美 (はら なおみ) プロフィール

税理士。東京外国語大学卒業。TACの全日本管練(現:全国公開模試)「財務諸表論」「法人税法」を全国1位の成績で、税理士試験に合格。直後に出産。育児と両立させるため、1日3時間だけの会計事務所からスタートし、現在は全員女性だけのスタッフ30名、一部上場企業の子会社やグローバル企業の日本子会社などをクライアントにもつ。ミャンマーに会計サービスの会社を設立し、海外進出支援にも力を入れている。著書に「小さな会社のための総務・経理の仕事がわかる本」「小さな起業のファイナンス」(いずれもソーテック社)、『51の質問に答えるだけですぐできる「事業計画書」のつくり方(日本実業出版社)』『トコトンわかる株式会社のつくり方(新星出版社)』『『世界一ラクにできる確定申告(技術評論社)』『一生食っていくための土業の営業術(中経出版)』など。その他、「経理ウーマン」「デイの経営と運営」など雑誌への寄稿や、商工会議所、中小企業投資育成株式会社、日本政策金融公庫などでの、セミナー実績も多数。

きぬと、再度今夜のおかずを探します。Etoile de Midiには、朴の木やシラカバ、カラムツなど、たくさんの樹々たちが、生命を育んでいます。その中のリョウブ(サルスベリ)の葉っぱが、食べられると聞いて、養護施設の先生の目がキラキラ!炊き込みご飯にして、食べたら美味しそうという話になったのですが、葉っぱの位置が高すぎて、届きそうもありません。

そこで今度は、子どもたちの出番。木登りに挑戦です。ところがこの木、サルスベリという名前だけあって、ツルツル滑ること、滑ること。大苦戦のすえ、ついに葉っぱをゲットしてくれました。

夕飯は、サルスベリの炊き込みご飯と、昼間のうちに買っておいたニジマスの塩焼きです。子どもたちが自分で、火をおこして作ったバーベキューで、お腹もいっぱいになりました。



木登りに挑戦!

というわけで、いよいよ星空観察ツアーに出発です。周りには、街灯一つないのに、満月の明かりが、足元を照らしてくれます。

え、月明かりって、こんなに明るかったの?!と、ビックリ。都会で見る月と、とても同じ天体

とは思えません。さらに、さらに、望遠鏡をのぞくと、木星の縞々模様だけでなく、衛星らしきものまで見えるではありませんか!

そして、土星の輪っかや火星のクレーターも、はっきり見ることができました。私の生まれ星の天秤座の位置も、高橋先生に教わって、大満足。子どもたちは、地面に寝転んで、流れ星に願いごとをお祈りしていました。

翌日は、朝から近くの飯盛山に登山。こんなのハイキングコースだよと言われてましたが、日頃の運動不足がたたって、足腰へロヘロです。それでも、普段の行いがいいからか(笑)、お天気に恵まれ、美しいハケ岳の山々を眺めることができました。

最後には、はち切れんばかりの笑顔の子どもたちとハグしてお別れ。素敵なお泊三日の旅が終わりました。

子どもたちのために企画した自然教室ですが、救われているのは、戸沢暢美の魂でもなく、子どもたちでもなく、他ならぬ私自身だったような気がします。



シジュウカラの巣箱

好評
発売中

7人家族の主婦で1日3時間しか使えなかった私が
知識ゼロから難関資格に合格した方法

原 尚美 著 (中経出版)

1,300円+税

アタマのいい人と勉強のできる人は違います。

勉強のできる人は、点をとるコツを知っているだけなのです。

どうすれば本番で実力以上の力を発揮して、難関試験に合格するための、超合理的な、大人の勉強法について書いたものです。

がんばっているのだけれど、なぜか結果のでない方、勉強したいのに、仕事が忙しくて時間がとれないビジネスパーソン、今よりひとつ上の人生を目指したくて、悩んでいる方、このまま家庭の中だけに埋もれてしまいたくない子育て中のママ、そんな皆さんへの応援の気持ちを込めた一冊です。

7人家族の主婦で
1日3時間しか
使えなかった私が
知識ゼロから
難関資格に
合格した方法

合格率10%以下の
難関資格に
ストレートで合格した
驚異的なメソッド公開!

資格試験、留学検定、英語検定……
難関から、どんな試験も必ず受かる!